

子牛の下痢症対策について

子牛の下痢症は、様々な原因で発生し、農場の生産性低下の一因となります。中でも病原体（ウイルス、細菌、寄生虫等）が原因となる感染性下痢の発生予防に努め、農場の生産性向上を図りましょう！！



●効果的な消毒をしましょう

子牛房や分娩房を定期的に清掃し、常に清潔な飼育環境を維持する。
消毒前に糞便等の有機物を水洗で取り除き、その後できる限り乾燥させる。
効果のある消毒薬を使用する。

多くの農場で使われている逆性石鹼（パコマ、クリアキル、アストップなど）は、低温下で効果が落ち、さらに効果がない病原体（**ロタウイルス**等）があります。そこで、逆性石鹼に補助剤を添加することで、消毒効果を上げることができます。

補助剤：**マイクロ水酸化カルシウム**（粒子がより細かい消石灰）

消毒液がアルカリ化し、消毒効果があがります。

金属腐食性がないので、車両消毒にも使えます。

ロタにも効く！

🔍検索

消毒 マイクロ水酸化カルシウム

○混合液の作り方

資材	夏場1000倍希釈	秋から夏500倍希釈
逆性石鹼	200ml	400ml
マイクロ水酸化カルシウム (0.2%に調整)	400g	400g
水	200リットル	200リットル

～発泡消毒が効果的！！～

消毒液が流れ落ちやすい場所（カーテン、水槽、飼槽、カウハッチ等）や汚染度の高い床面には、発泡消毒（泡状にした消毒薬を付着させる消毒法）が有効です。

①泡状になった消毒薬が長い時間作用する。②消毒した場所が一目でわかる

③使用する水の量が液状に比べて少ない

などのメリットがあります。

🔍検索

発泡消毒 畜産

他に、子牛作業時の専用長靴や手袋を準備・使用するのも効果的です。